

科目名		デザイン実習 1B								年度	2024
英語科目名		Design Practice 1B								学期	後期
学科・学年		デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次		必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		林 準也			教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアコーディネーター	
【科目の目的】											
目的1：インテリアコーディネートをする上で基本となるポイントを理解し、活用出来る力を養う											
目的2：課題の内容を理解し、コンセプトメイキングとそれを表現するプランニングが出来る力を養う											
目的3：課題で求められる商材を的確に選定し、設定に基づいたインテリアスタイリングが出来る力を養う											
【科目の概要】											
概要1：インテリアコーディネートのポイントを学ぶ。自分の部屋のプチリフォームプランニング											
概要2：ホテル客室のリフォームプランニング											
概要3：建売住宅のモデルハウスのインテリアコーディネート、スタイリング											
【到達目標】											
到達目標A：インテリアコーディネートのポイントを活用し、自分の部屋をあかぬけた部屋にするプランニングが出来る											
到達目標B：単なる色柄合わせではないストーリー性のあるコンセプトによるプランニングが出来る											
到達目標C：必要な情報を欠かさず的確にスペックした上でコンセプトに沿ったスタイリングが出来る											
【授業の注意点】											
授業時間を最大限有効に活用し、課題を期限内に確実に仕上げる。欠席等により課題が出せなかった場合は、翌週までに仕上げ、提出すること。全ての課題を提出しなければ合格とならない。											
また授業時数の4分の3以上出席しない者は合格することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル5 優れている				レベル3 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A		インテリアコーディネートのポイントを充分理解し活用出来る				インテリアコーディネートのポイントをおおむね理解し活用出来る				インテリアコーディネートのポイントを理解し活用出来ない	
到達目標 B		的確にストーリー性のあるコンセプトメイキングとプランニングが出来る				おおむねストーリー性のあるコンセプトメイキングとプランニングが出来る				ストーリー性のあるコンセプトメイキングとプランニングが出来ない	
到達目標 C		取りこぼしなく確実に商材のスペックとスタイリングが出来る				おおむね取りこぼしなく商材のスペックとスタイリングが出来る				取りこぼししない商材のスペックとスタイリングが出来ない	
【教科書】											
【参考資料】											
オリジナル資料											
【成績の評価方法・評価基準】											
思考力20% 表現力20% 制作物（提出成果物）40% プレゼンテーション力 20%											
授業への意欲 の他、成果物、プレゼンテーションまでに至る経過を評価します。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		デザイン実習 1B				年度	2024
英語表記		Design Practice 1B				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	課題①説明 プランニング	要求事項の理解		コーディネートのポイント	内容を理解する		
				プランニング	ポイントを活用したプランニングが出来る		
2	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		パースを描く	ポイントを具現化した作図が出来る		
				着色する	空間イメージが伝わる着色が出来る		
3	プレゼンテーション 講評	プレゼンテーション力		発表	活用したポイントを明確に説明出来る		
				講評	人のプランを正しく評価出来る		
4	ケーススタディ	インテリアエレメントの知識		壁装材・床材の説明	商材の適材適所を理解する		
				例題をプランニング	例題に合わせた商材の選定出来る		
5	ケーススタディ	ウインドウトリートメントの知識		窓装飾品の説明	商材の適材適所を理解する		
				例題をプランニング	例題に合わせた商材の選定出来る		
6	課題②説明 プランニング	要求事項の理解		課題説明	内容を理解する		
				コンセプトメイキング	課題条件に沿ったプランニングが出来る		
7	プランニング 商品選定	要求事項に応える		コンセプトメイキング	課題条件に沿ったプランニングが出来る		
				エレメント、マテリアル選定	適材適所のマテリアルを選定出来る		
8	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		パースを描く	選定したマテリアルと空間が伝わるパースが描ける		
9	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		着色する	選定したマテリアルと空間が伝わる着色が出来る		
10	プレゼンテーション 講評	プレゼンテーション力		発表	コンセプトとそれに沿ったプランニングを説明出来る		
				講評	人のプランを正しく評価出来る		
11	総合課題説明 プランニング	要求事項の理解		課題説明	内容を理解する		
				コンセプトメイキング	課題条件に沿ったプランニングが出来る		
12	商品選定	要求事項に応える		エレメント、マテリアル選定	適材適所のマテリアルを選定出来る		
13	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		パースを描く	選定したマテリアルと空間が伝わるパースが描ける		
14	プレゼンテーションボード作成	要求事項に応える		着色する	選定したマテリアルと空間が伝わる着色が出来る		
15	プレゼンテーション 講評	プレゼンテーション力		発表	コンセプトとそれに沿ったプランニングを説明出来る		
				講評	人のプランを正しく評価出来る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等